

H29年度 就労ワーキング振り返り・評価シート

H30年2月26日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

企業がタイムリーに就労支援事業所を見学できるようなシステムづくりの前準備として、就労支援事業所に向けた働きかけを行う。

【今年度の取り組み内容】

開催回数	6回	開催月	7月、8月、9月、10月、12月、2月
------	----	-----	---------------------

○具体的活動内容

・中越圏域就労移行支援事業所連絡調整会議と連携して、「障害者雇用サポートフェア」(名刺交換会)に向けての取り組みを行った。
 ⇒ワーキングでは、就労支援事業所職員の身だしなみや来客対応等、日頃から気持ちの良い対応ができる施設を目指すためのセルフチェックについて、圏域会議では、事業所側から企業へのプレゼンテーションの方法について、役割を分けて取り組んだ。
 ・セルフチェックシート「まずはここからガイドライン～つなげる つながる 虎の巻～試行版」を作成した。
 ・試行版を2事業所で使用し、結果を受けて、再度検討、修正、追加等の作業を行った。
 ・セルフチェックシート「まずはここからガイドライン～つなげる つながる 虎の巻～試行版」を中越圏域の就労移行支援事業所に提示、活用の声かけを行い、活用後のアンケート調査を行った。

○取り組みの結果及び成果 ※成果はモニタリングを実施した場合のみ

【H29年度ワーキングの取り組みの結果】
 ・企業側から障害者を雇ってもらいやすくするために、施設(事業所)として準備をすべきこと、として、中越圏域就労移行支援事業所連絡調整会議と連携し、統一した方向性で取り組みを行うことができた。
 ・障害者雇用サポートフェア」(名刺交換会)では、参加した事業所の大半が個別の企業見学につながった。
 ・セルフチェックシート「まずはここからガイドライン～つなげる つながる 虎の巻～試行版」を中越圏域就労移行支援事業所連絡調整会議に参加している就労移行支援事業所(38事業所)+特別支援学校4か所に提示し、活用してもらった。
 ・対象事業所へセルフチェックシート活用後のアンケート調査を実施。
 ・アンケート結果から、今後やるべきことを更に明確化することができた。

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気付き、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・セルフチェックシートを作成するにあたり、最初の項目出しから取り組めたことで、自分自身の意識付けにもなった。
 - ・障害者を企業等に送り出す機関として、セルフチェックシートの内容を自分の事業所へ反映させることの難しさを知った。
 - ・セルフチェックシートを作りっぱなしにするのではなく、アンケートでの意見収集や今後の活用等についてプロセスを踏んで取り組むことができた。
 - ・中越圏域就労移行支援事業所と連携できることが、ワーキングの強み。今後も継続して行っていきたい。
 - ・長岡市の就労支援事業所の障害者雇用に対する意識や支援等の差が大きいため、バランスを取ることが難しい。
- (→今後の課題)
- ・自分の施設(事業所)だけでなく、圏域や市全体の底上げについて考えることができた。
 - ・セルフチェックシート「まずはここからガイドライン～つなげる つながる 虎の巻～試行版」を目に見える形で完成でき、外部に出せたことは良かった。事業所もこのようなものを必要としていたのではないか。
 - ・他の事業所の状況を知れたことは収穫だった。

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で、どのような協議会の機能があったかを確認する。※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	機能の有無	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援事業所の実情を知ることができた。 ・中越圏域就労移行支援事業所連絡調整会議と情報共有し、お互いの役割分担をすることができた。 ・障害者雇用をする企業の実情を知ることができた。 ・各就労移行支援事業所でセルフチェックシートの使い方が分かった。 ・就労支援事業所ごとの障害者雇用に対する認識や支援内容の差、課題等を知ることができた。
調整機能	有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフチェックシートを作成するために、ワーキングメンバーで役割分担をした。 ・福祉以外の分野とのつながり、連絡調整ができた。(就労ワーキング1番の強み) ・ワーキングで行う活動のプロセスを具体的に設定できた。
開発機能	有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフチェックシート「まずはここからガイドライン～つなげる つながる 虎の巻～試行版」が開発機能そのもの。 ・セルフチェックシートを活用してのアンケート結果から、就労移行支援事業所でプラスの変化が生まれている。 ・中越圏域就労移行支援事業所連絡調整会議と一緒に取り組めたこと。
教育機能	有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフチェックシートの活用が、職員の資質向上につながった。事業所全職員に反映できた。 ・作成したセルフチェックシートを事業所へ持ち帰って、職員全体へ伝えること、活用してもらうことの難しさを知った。
権利擁護機能	有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングとしては、今年度は支援する職員向けの取り組みだったため、本人への直接的な権利擁護機能は果たしていない。
評価機能	有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施し、中越圏域就労移行支援事業所連絡調整会議の参加事業所から、セルフチェックシート「まずはここからガイドライン～つなげる つながる 虎の巻～試行版」に対する評価をしてもらった。 ・ワーキングで現状についての評価を行い、「見学システム」でなく、セルフチェックシートの取り組みを決めた。

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 終了
継続・終了の理由	平成29年度で作成したセルフチェックシートについては、作って終わりではなく、アンケート結果(各事業所からの活用後の意見)を反映させながら追加・修正を加えていく必要があるため。

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

今年度の取り組みに対する モニタリングの実施	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	モニタリング実施時期	30年 12月
---------------------------	--	------------	---------

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】 ※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

- ・セルフチェックシートを活用し、できていない項目をどう改善するか、できていない人にどう伝えるか
 - ・チェック項目の評価方法について(3段階評価(A・B・Cなど))
 - ・セルフチェックシートを各事業所に継続して活用してもらうにはどうするか、など…
- アンケート結果から、上記内容については、検討が必要。

【来年度の方向性・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】 ※来年度継続の場合

- ・セルフチェックシートについて、「1年目の方から利用できるガイドライン」とターゲットを明確にする。
- ・アンケート結果を踏まえ、セルフチェックシートの追加・修正を行い、日常的なツールとして、気軽に使ってもらえるものにバージョンアップしていく。
- ・引き続き、中越圏域就労移行支援事業所と連携し、統一した方向性での取り組みを行う。